



アート作品展 入選おめでとう

立野さん profile

好きな食べ物…ハンバーグ
好きなテレビ番組…水戸黄門・パカ殿
カラオケ十八番…ピンクレディのUFO
好きな利用者さん…目黒さん
楽しみにしている物…お祭り・旅行
やってみたい事…おしゃれ



平成三十一年度が始まったこの年度も、この新聞が皆様
に届くころには、年号が変
わっていると思います。平成
の時代は福祉に大きな変動を
もたらしました。私が採用さ
れたのは、昭和の時代で、肩
書は指導員で措置の時代でし
た。平成になり措置から契約
に、指導員は支援員と呼ばれ
るようになりました。多くの
サービスマも生まれました。そ
してそれは日々変化していま
す。その時には考えられな
かったことが多く現実になっ
ています。新しい年号の時代
も、福祉サービスマを利用する
方にとって、その人が利用す
る支援がすぐに利用できるよ
うな、より良いものに進んで
ほしいと願います。そして今
や世の中はITです。手書き

共生共感

所長 植原 明美

第112号 発行

〒970-8003
いわき市平下平窪字熊ヶ平6番地
TEL (0246) 23-5311
FAX (0246) 23-5312
はまぎく荘新聞編集委員会
HP <http://hamagiku.i-fukuin.com>
E-mail: kuma-house@mx5.et.tiki.ne.jp

●紙面紹介●

- 1面 共生共感
- 2面 アート作品展 佳作
- 3面 今年度事業計画
保護者研修会
浜しんやさんコンサート
自治会行事/行事計画
新職員紹介/異動職員紹介
- 4面 はまぎく荘40周年
教室ボランティア
みはま福祉祭りはまぎく告知
異動退職者/編集後記

で書いていた記録は、いまや
パソコンという箱ものの中に
存在します。ITを無視して
の生活は不可能と思います
が、人の手を外しての介護は、
まだこの時代には存在しない
と思います。顔を見て、会話
をしながらの食事の支援・景
色を見ながら季節を感じなが
らの散歩。私たちの仕事は人
と人との関わりです。開所当
時からある「共生共感」の言
葉を新しい年号のもとで、職
員一同共に寄り添う心・共に
感じる心をもちながら、支援
をしていきたいと思えます。
また、私たち利用者・職員も
社会の一員であるという気持
ちで、日本財団チャリティー
自販機を二月から取り入れま
した。私たちにもできる一つ
の貢献でした。みんなが決め
た支援は「子供サポートプロ
ジェクト・子供の貧困対策支
援」でした。人気な物は、あつ
という間に売り切れのマーク
が出て、小さな貢献ができた
ことを感じ、新年号元年のも
とで、みんなが笑顔で元氣な
一年であり
たいと願
います。



アート作品展

佳作入選!!

「ビッグ・アイアートプロ
ジェクト」(DIVERSITY
Y IN THE ARTS 公
募展)に作品を応募し、『佳
作』に選ばれました。作品
名『燃えるグレープフルーツ』
(写真上)。

ボランティアの先生に来て
頂き、毎月行っている創作教
室。それぞれにアクリル絵の
具やクレヨン、パステルなど
の好きな画材を使用し、絵
を描いています。

今回は、燃えるような真っ
赤な隕石のような素敵なお絵
に仕上がりました。本人に
何の絵なのか何うと、「グレ
ープ(グレープフルーツ)」との
事で、作品名は『燃えるグレ
ープフルーツ』に決定しました。
立野さんは、他の利用者さん
にも笑顔で接し、たまあに泣
いてしまうこともあります
が、面倒見が良く、皆と関
わるのが大好きな明るい方で
す。行事や作業にも積極的
に参加し、職員をつまらない
ギャグにも、空気を読んで笑
顔で対応してくれる優しいと
ころが皆に好かれています。

今年度事業計画

所長 植原 明 美

利用者主体の考えに立つて、自立を支援すると共に、良き支援者として専門的役割を自覚し使命を果たすことを基本理念とします。

● 支援

高齢化、重度化が進む中、一人一人が必要とするサービスの提供を行い、健康で元氣な生活が送れるよう支援します。

● 職員構成

常勤十九名、非常勤六名、新採用が一名入職しました。

● 施設整備

- ・みはま体育館トイレ改修
- ・居室エアコン設置工事
- ・網戸設置工事

安全・快適に生活するための環境整備を必要に応じ行います。

● 防災関係

毎月の避難訓練の実施。又土砂災害を想定とした訓練を重視して行います。

● 教室活動

毎月の活動を通して楽しくボランティアと一緒に交流します。(生け花・手作りおやつ・ラテンパーカッション・トーンチャイム・福祉レク・お化粧・創作教室)

支 援

男子棟

広い視野をもち、関心を持つこと。気付き、考えること。思うだけではなく、動くこと。常に想像力を欠かさな

「楽しい」は何においても不可欠ですが、まずは利用者の為の「楽しい」でありたいです。主役を忘れず、職員としての役割を忘れず。

利用者の笑顔を引き出し、職員も笑顔になれるような支援を今年も目指します。

主任支援員 川井 敦史



女子棟

昨年度も女子棟は笑い声の絶えない場所でした。女子棟の皆さんは、元気で朗らかで明るい方が多いです。皆さんの笑顔を見ると、こちらが元気づけられるほどです。私たち支援員の使命として、利用者さんの暮らしの豊かさとは何か、幸せとは何か、楽しさとは何か。を常に考え、行動に移していきたいです。今年度も皆さんにとって楽しく居心地の良い場所を提供できるように女子支援員一同頑張つてまいります。

主任支援員 野木 節子



医 務

看護師 田井 則子

「外で運動しよう。」

健診にて五十歳以上の女性利用者さんが、骨密度の検査を実施しました。八人受け六人が骨粗しょう症との診断でした。現在治療中の方も入れると、半分以上になります。「骨粗しょう症とは」五十歳を過ぎると女性ホルモンの関係から、骨の量が減って骨が弱くなり、骨折しやすくなる病気です。また運動不足で寝たきりにもつながってしまいます。利用者さんがそうならない為にも、外に出て、日光を浴びながら体を動かし「歩いたり、立ち上がり、たり」骨に負担を掛け丈夫な骨を作り、いつまでも元気で歩けるよう支援してまいります。

給 食

栄養士 大平ちあき

今年度も、魚国総本社東北支店との業務委託を継続し、曆に沿った行事食の提供や旬の食材を生かした献立づくりを行い、利用者の皆さんが見て楽しい・見てわかる行事食の提供を行います。また、利用者様の高齢化に伴い、食形態にも十分配慮した食事の提供と、食事介助の研修等を行いながら職員のスキルアップと利用者様が安心・安全でおいしく食事できる環境作りに努めてまいります。

保護者研修会

去る三月二日～三日、いわき新舞子ハイツを会場に、平成三十年度保護者・職員研修会が行われました。今年度は、保護者十四家族が参加、昨年同様、はまなす荘と合同で、「人権を守り人生を支える」知的障害者と意思決定支援」をテーマに、社会福祉法人いわき育成会本部事務局長の古川敬氏よりご講演をいただきました。「意思決定支援」は、知的障害者の支援そのものであり、その支援こそが「積極的な人権擁護」となりうること、「障がい者」という前に、まず「人」として接することが大切であると締めくくられました。その後は例年通



保護者・職員共に学びを深めました。

多数の保護者の皆さまにご出席いただくことができました。



り、保護者との面談により、家族の希望を確認しながら、利用者のより良い今後の支援について、意見交換の時間を持ちました。新年度を迎えるにあたり、利用者、家族、職員が、より良い関係を保ちながら、利用者の一人ひとりが「幸せ」と感じられる「はまぎく荘」でありたいと願います。



十二月二十二日に、浜しんやさん一行が来所され、毎年恒例の「浜しんやコンサート」が開催されました。開催前から皆さん楽しみだったようで、「きよしこの夜」「青い山脈」や「まつり」など馴染みのある歌と一緒に歌ったり、踊ったり、二胡という楽器での演奏があったりと大盛り上がりでした。楽しい時間はすぐ終わってしまうもので、あつという間の一時間半でした。お礼の品を渡し、浜さんたちにも喜んでいただけ、今年も皆さんが楽しめるコンサートでした。楽しい気分で行事でした。

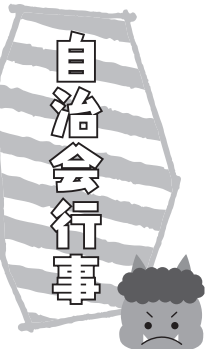
浜しんやさん & コンサート

● 行事計画 ●

4月	花見
5月	障がい者体育大会
	保護者との交流会
6月	所内研修 (AED)
	グループ旅行 (一泊班①)
7月	小島保育園との交流会
	グループ旅行 (一泊班②)
9月	保護者との交流会
	みはま福祉祭り in はまぎく
	グループ旅行 (日帰り班①)
10月	グループ旅行 (日帰り班③)
	遠足・所内研修
	芋煮会
	九品寺平窪幼稚園との交流会
11月	敬老の日招待
	グループ旅行 (日帰り班②)
12月	40周年記念行事
	クリスマス会
2月	所内研修 (AED)
3月	保護者との一泊研修



春はイベントが目白押しで、不思議とウキウキしてしまう季節です。はまぎく荘でも自治会の季節行事として、節分やひなまつりを実施しました。節分では、皆で鬼のお面をかぶり、皆で荘内豆まきツアー！利用者さんの「鬼は



外、福は内！」の元気いっばいな掛け声に、コワイ鬼もどこかへ退散してしまっただけ。ひなまつりで歌った『うれしいひなまつり』は、女性陣はもちろん、男性陣の歌声も響いていました。今年もあたたかい春のような、そんな一年になりそうな予感。季節のイベント盛りだくさんな一年で参りましょう。



新職員・異動職員紹介



今年度になり、異動・新職員を三名迎え入れました。長い付き合いの職員共々、今後よろしくお願い致します。



支援員
藤田 彩花

四月より新採用で勤務させていただきます。藤田彩花です。

支援員として、はまぎく荘に来られたことがとても嬉しいです。利用者の方々の健康や笑顔、たくさんの喜びのためにも日々の気づきや学びを大切にしながら、みなさんと過ごしていきたいと思っております。一步一步成長し、よりよい支援ができるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願いたします。



支援係長
高原 直人

この度人事異動により共同生活援助事業所シーズより、はまぎく荘に異動になりました。

教室ホラ、ニティア

三月十三日、平成三十年度のボランティア活動を振り返る「ボランティア懇親会」が開かれました。午前中は参加された各活動のボランティアさんとの教室発表及び反省会を行い、昼食をささやかですが、同法人の「晴レル家」メニューを味わって頂きました。ボランティアさんによる活動は、利用者さんにとって一番楽しみにしている活動でもあります。心より感謝申し上げます。今後とも、お体に気をつけて頂き、利用者さんの笑顔の一助になつて頂ければ幸いです。



パート
丸山 佳枝



ひまわり信用金庫から災害備蓄用ご飯寄贈

ひまわり信用金庫から、災害備蓄用フリーズドライご飯がはまぎく荘に六〇四個寄贈されました。贈呈式は同信用金庫本部で行われ、調理方法説明と試食会もあり、おいしかったです。ご飯は施設の災害倉庫に保管しました。ありがとうございました。



みはき福祉祭り「はまぎく」

昨年度はまなす荘にて大いに盛り上がったみはき福祉祭りですが、今年度ははまぎく荘が主催となります。元号も変わり、変化の時を迎えますが、はまぎく荘の歴史も様々な変化が積み重なつてできたものなのではないかと感じております。今年度は、その歴史を感じ、懐かしむとともに、これからのみはきく荘がよりエネルギーに良い変化を重ねて行けるような笑顔あふれる祭りを目指して行きます。さまざまな方々の協力の上で祭りが成り立っていることに感謝をしながら、今年度も準備を進めていきたいと思っております。開催は九月七日(土)です。皆様とお会いできることを楽しみに、利用者・職員一同、首を長くしてお待ちしております。

はまぎく荘 40周年

はまぎく荘は1979年4月に開所しました。今年で40周年を迎えます。その記念として、12月に記念行事をエリコで予定しております。決まりましたら改めてお知らせいたします。

異動・退職者

- 異動職員 (H31・4)
- 田中 真成 係長
- カナン村へ
- 大竹 友恵 支援員
- カナン村へ
- 退職者
- 鈴木 健一さん
- お疲れ様でした。



私が日々の支援の中で意識していることがあります。それは、「自分が楽しいと思えることを提供する」ということです。人は誰しも、楽しいことを誰かと共有したくなるものだと思います。利用者さんと一緒に楽しいことを分かち合うことで楽しさが二倍にも三倍にもなると常々感じております。「この人と一緒にこんなことをしたい」と利用者さんに思ってもらえる職員こそ良い支援者となるでしょう。そんな職員をこれからも目指し、「一緒に楽しむ」ことができる職員となれるように精進してまいります。

「はまぎく」一一二号ご高覧下さい。

